

参議院選挙 (7月21日投票予定)

憲法を変えようとする政党、候補者を勝たせてはいけない!

10年後に「こんなはずじゃなかった」と思わないために

7月21日は参議院選挙投票日です。昨年の総選挙で自民党が絶対多数をとってから初めての国政選挙です。自民党をはじめ改憲派は、勢いに乗って参議院でも3分の2以上の議席を獲得して、一気に憲法改正に突き進もうとしています。改憲派が参議院も制することになれば、戦後六十数年間いろいろ問題はあっても、とにかく平和な日本を保障してきた憲法が壊されます。そうなれば、アジアにいつその緊張がもたらされ、国内では私たちの自由や権利がおびやかされる恐れがあります。

憲法96条改正が唱えられていますが、これは全面的憲法改正の入口です。ここを阻止しないと、9条をはじめその他の重要条文の「改悪」が容易になってしまいます。

みなさん、「無関心」や「棄権」は「改悪」への白紙委任です。投票所に行きましょう。そして、投票では、96条など憲法「改正」をとる候補者や政党には絶対に投票しないよう、周りの人たちにも訴えていきましょう。10年後に「こんなはずじゃなかった」と思わないために!!

憲法九条「変えない方がよい」58%



東京新聞世論調査

東京新聞(6/4付け一面)に、同紙世論調査(全国の有権者を対象)の結果が掲載されています。これにより、戦争放棄を掲げる9条と、改憲ルールを定めた96条の見直しは、いずれも「反対」が賛成を大きく上回っています。また、「原発の再稼働」にも有権者の約6割が反対しています。政権と民意の隔たりが明確になっています。民意を反映させるために投票所に行くこと。そして、投票では、96条など憲法改正をとる候補者や政党には絶対に投票しないよう、周りの人たちにも訴えることが、ますます重要になっていきます。



橋本 美香(はしもと みか、1980年生):日本のアイドル歌手。シンガーソングライター。制服向上委員会会長。1995年8月27日、こまばエミナスにて制服向上委員会のメンバーとしてデビュー。以降、10年以上にわたりメンバーとして活動し、中期以降の同グループを陰に陽に支えた重要な人物の一人である。5代目リーダーを4年間つとめた後、会長としてグループを統率。URL http://ameblo.jp/mika-hashimoto/ 著書「脱がない、媚びない、NOと言えるアイドル」(2012年)

戦争はいらない 橋本美香

「俺が暴走するから、後はうまくまとめるよ、安倍ちゃん」「はい、わかりました。任せてください。」石原さんと安倍さんが会話する変な夢を見ました。偶然にもその日の国会中継でその二人のやり取りを観ました。これはもしかしたら正夢かもしれない。

自信を持って暴走する石原さんがいて、それを押さえ全体を考えたような政策をする安倍さんを演出する事により、多くの国民の好感を得られる事と思います。このように国民をリードする戦略が、自、公、維新に対抗するには必須だと思います。(略)

アベノミクス、円安で株価が上がり、一部の企業は大喜びですが、国民にとって何かメリットはあるのでしょうか。物価が上昇し、毎日の買い物だって大変、海外旅行も費用がかさみ、私たちの生活に景気回復の実感はないと思います。多くの人が共感出来るようなヴィジョン、それを提案出来なければ勝てないでしょう。

一方で、日本人は実際に体験しないとわからない人種なのかもしれません。憲法が改正され国防軍が出来て戦争になり、自分が徴兵される日が来て、そこではじめて自身の問題として感じられるのかもしれませんが、もしそうでないと言うのなら、福島原発事故の惨劇を受けて、多くの国民が自分の痛みと捉え、脱原発の声を上げる事でしょう。でもそうはならなかった。今も避難生活をされている方々が大量にいるのに、原

発問題には無関心、これが現実です。自分に直接関係のない難しい問題を考えるよりも、楽しい話題をしている方がよい、そのような方がどれだけ多い事でしょう。当事者になってみないと痛みがわからない、そんな中で、今夏の参院選も国民に選挙に行こうと呼びかけても、自民党が圧勝するだけです。

このままいけば、参院選も自民党の圧勝でしょうか。しかし、あきらめません。私たち国民の生活向上の為に、明確なヴィジョンを提示する政党の登場を期待したいです。(「子どもと昔話」55号より)

実行委員募集

のおさそい

制服向上委員会コンサート

日本を代表するアイドルグループ「制服向上委員会」。おがわ町九条の会では、このグループをお呼びして、コンサートを開きます。そこで一緒にこのコンサートを企画し盛り上げて下さる方を募集しています。高校生や中学生の方大歓迎です。ぜひお知り合いの若い方にお声をかけてお誘い下さい。(もちろん老若男女どなたでも結構です。ちょっとしたお手伝いをしてください。)連絡は下記「渡辺」まで。



2013年10月19日(土)午後

パトリア小川

(橋本美香さんのトークも予定しています)

リレーメッセージ



「聞いて!聞いて!私の声」・・・「おがわ町九条の会」では町のみなさんのいろいろな声を集めてゆきます。今回、三名の方からご投稿を頂きました。ありがとうございます。

憲法学習会に参加して 大塚 天田英男

おがわ町九条の会は5月18日リリック小川で「憲法『改正』で日本はどう変わるか」(講師:渡辺礼一さん)というテーマで学習講演会を開きました。70名の参加者。資料として『現行日本国憲法』『自民党改憲草案』の対照表を配られ、2時間を越えるお話を聞きました。自民党の「改悪案」の時代錯誤・逆行の最大の目的は何か。国防軍の創設や、国民に憲法尊重義務を課すなど、逆立ちした内容になっていると指摘。改悪を許さない世論を広げる運動の重要性を強調されました。講演後、参加者から質問にも丁寧に答えて下さって終了しました。帰りがけ、「今日は勉強になった」と幾人もの人たちが呟かれていました。この学習会は、これからの「おがわ町九条の会」の活動にエネルギーを与えていくと思います。折しも大江健三郎さんたちが、安倍政権の改憲策動の阻止を呼び掛けるアピール「九条の会のみなさんへ」を発表しました。これに励んで全力を尽くしましょう。



東松山、小川町両会場で、140名の皆様のご参加を頂きました

「パネル展示『慰安婦』問題ってなあに?」からのレポート 大塚 豊嶋康子

5月25日(土曜日)宮代町立図書館「パネル展示『慰安婦』問題ってなあに?」に出かけました。その報告をします。展示はQ&A形式でまとめられてました。とてもわかりやすかったです。



「日本軍『慰安婦』制度とは?」「慰安所は、誰が、どのような目的で作ったのですか?」「『慰安婦』は、誰が、どのようにして集めたのですか?」「誰が、どのように管理・運営したのですか?」「戦後、『慰安婦』制度は裁かれたのですか?」「どのような女性たちが、どこへ連れて行かれたのですか?」「慰安所での生活はどのようなものでしたか?」「戦後、『慰安婦』たちはどうなったのですか?」など一つひとつ丁寧に答えています。

講演会も聴いてきました。中学校の歴史で「慰安婦」の問題を授業で取り組んだ小堀敏夫先生(元埼玉県三郷市瑞穂中学校)のお話で、「『慰安婦』問題と中学生」という題でした。「中学生に『慰安婦』の学習はふさわしくない、早過ぎるという主張は本当に正しいか 授業で検証する」という取組のお話では、旧日本兵だった方を教室に招いて話を聴くという内容もありました。その当時の兵士がおかれていた状況と戦渦の実態の情報がそろえば中学生は加害者・被害者の置かれた構造とそこで何があったかを正確に把握できるのです。その授業を受けた中学生の感想文も配布資料に載せてありました。中学生らしい言葉だからこそ理解度の深さが伝わってきました。小堀先生は、「戦争とはどういうものかという問いに『慰安婦』問題は避けては通れない」と講演会の冒頭で語ってました。人が人に対して何をしたか、女性の人権も男性の人権もいかに扱われたかが凝縮された問題です。2012年から教科書全社で「慰安婦」という言葉の記述がなくなっています。日常的に学ぶ機会を増やすこと、そしてその方法について考えるための力になった企画でした。

「おがわ町九条の会」は「憲法九条を守りたい」と思う方ならどなたでも入会できます。「おがわ町九条の会」は皆様の会費(一口2000円)とカンパで運営されています。ご連絡をお待ちしています。(0493-74-1138 渡辺)

「おがわ町自然エネルギーファーム」をよろしく願います。 角山 桜井薫



おがわ町九条の会の方々の皆さまのご支援を戴いて、「小川町市民発電力協社(仮称)」(任意団体)はNPO法人申請団体「おがわ町自然エネルギーファーム」として、設立総会を開く(6月22日 13時:小川町図書館2F)ことになりました。

私達のイメージしている姿は、エネルギーの施設を自分たちで所有し、それを自分たちで運転・管理し、出来たエネルギーを皆さんと共有する(分配する)エネルギー生協のような組織です。現段階ではまだ、個人宅への電気の供給は法律的に出来ませんが、数年の内に「電気の自由化」が進むものと思われます。その時に、地域のエネルギー供給の核になりたいと思います。小川町では、太陽と森のエネルギーを上手く活用すること、エネルギーの浪費を止めることの二つの事業をすすめることで、地球に負荷をかけないエネルギーによって自給する能力があります。小川町だけではなく、近隣の自治体を含めると、もっと可能性は広がって行きます。いよいよ、エネルギーを自給する社会を目指

しての活動が始まります。(連絡先 73-1478 藤村)

こうした地域の活動が、電力会社や大きな資本に全面的に依存してしまう私達の暮らしを変えて行きます。原発を止めて行きます。そして、このあと間違いなく起こる経済的な破局から、暮らしを守る新しい仕組みの創造へと繋がって行きます。それは、戦争への道を断ち切る一つの方法でもあります。

設立総会の記念講演者には、3.11から約半年後の反原発集会(東京)で被害地者ながらも子どもたちの永遠の未来を汚してしまった大人の無責任を謝罪する感動のメッセージを飛ばした、武藤類子さん(福島県三春町在住、現、東電福島原発事故責任訴訟原告団リーダー)をお招きしています。ぜひ、彼女の話聞いて下さい。

お知らせ。小森陽一さん(九条の会事務局長)のお話



7/27(土) 13:30 ~ 国立女性教育会館(又エック)

第43回家庭科教育研究者連盟 夏季研究集会記念講演(¥5000)

主催 NPO 法人家庭科教育研究者連盟 042-749-9216



平和のための戦争展

今年も「小川町平和のための戦争展」の季節がやってきました。
期日:8月23日(金)~31日(土)
会場:小川町図書館(展示を連日行っています 月曜日休館)

特別企画
「朗読と歌のつどい」8/25(日)14:00~
「映画鑑賞『ひろしま』」
8/31(土) 10:30~ 13:30~



主催:小川町平和のための戦争展実行委員会 73-2536